街の元気 ● みんなの元気を応援します

viva city

ビバ＊シティ

公益社団法人
石川県柔道整復師会

石整広報99

VOL. 13
2016 April

創立90周年・社団法人設立40周年
協同組合設立20周年

美川ふくさげ祭り

[柔道整復師倫理綱領]

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民俗医学として伝承してきたところであるが、限りない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。
ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

１、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
２、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
３、相互に尊敬と協力に努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
４、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度を以て接する。
５、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。

街の元気 ● みんなの元気を応援します

viva city ビバ＊シティ

VOL. 13

2016 April

公益社団法人
石川県柔道整復師会

石整広報99

C O N T E N T S

1 巻頭言

2 祝　創立90周年・社団法人設立40周年
協同組合設立20周年
記念式典
記念祝賀会／記念講演会
表彰式 喜びの受賞者

10 特集　講演会／研修会
公開講座
講習会
会員学術研究発表
各支部研修会

17 サポート接骨石川（SSI）活動報告
①能登和倉万葉の里マラソン2016
②鳥越中学校での研修会に講師派遣
③職業実践専門課程のための研修会で講義

20 支部だより
加賀支部／金沢南支部／金沢北支部／能登支部

23 トピックス

巻頭言
かんとうげん

創立 90 周年記念事業を終えて――

高い志をもって 新しい歴史を刻んでいこう

■堂本 義邦
（どうもと よしくに）
（公社）石川県柔道整復師会 副会長

［プロフィール］
平成11年より理事を務め、現在9期目。
その間に、能登支部長、経理部長、総務部長を歴任し、平成27年４月に副会長に就任。

平素より本会の活動にご理解ご協力を頂き誠にありがとうございます。平成 27・28 年度公益社団法人石川県柔道整復師会副会長という重責を拝命してはや１年、これからも心引き締めて任を全うすべく邁進する所存です。

石川県柔道整復師会の前身は、大正 14 年 11 月、石川県知事の認可を得て先達７名で発足させた「石川県柔道整復術営業組合」です。昭和 50 年に社団法人となり、平成 25 年には公益社団法人として正式に認定されて現在に至ります。そして創立 90 周年・社団法人設立 40 周年・協同組合設立 20 周年にあたる昨年は、11 月に県内外の関係各位にご参集を賜って記念式典を開催。盛会のうちに終了し、100 周年という次の目標に向かってスタートを切ったところです。ここにご尽力頂いたすべての皆様方に心より感謝を申し上げます。幾多の節目を乗り越えて、我々の組織が目に見えない土の下で広く、深く、大きな根を張っていることを実感させられました。今後の課題も踏まえつつ、さらに力強く底力をつけていかなければと決意を新たにした次第です。

さて北陸新幹線開業から１年が経ち、海外からも多くの人々が訪れるようになって、私にとって遠かった「世界」が少し近くに感じられるようになりました。最近は外国人の患者様が来院されることもあり、翻訳アプリや音声ガイドなどで時代に即した対応も検討していかなければなりません。ところで、通訳の方によるとどうしても訳せない、伝えにくい日本語があるそうです。「いただきます」「ごちそうさま」「おかげさま」「ありがたい」「ご縁」などがそれで、「一期一会」はその最たるものだとか。もう二度と会うことのない相手に心を尽くす――そういう概念のない国の人々には理解しがたい言葉のようです。しかし、今世界の人々が注目し、魅了されているのは、まさにそういった「日本の心」なのです。伝統、文化、禅、礼節、武士道など、日本人が忘れかけていた誇るべきものを外国の人々から再認識させられた思いです。

我々も目の前の患者様の痛みに寄り添い手当をし、最善を尽くすという医療人としての心を忘れずに、伝承の医術「柔道整復術」をしっかりと先人から受け継ぎ、新しい知識を学び、取り入れながら次世代に伝えていかなければなりません。本会もまた、50 年先、100 年先に向けた高い志をもって歴史を刻んでゆきたいと思います。土の中で大きく育った根に見合う美しい花を地上に咲かせようではありませんか。前を向いて新たな一歩を踏み出しましょう。

今後もさらなる結束力で団結し、益々のご支援、ご協力を賜り、本会の繁栄にご尽力くださいますようお願い申し上げます。

開会の辞を述べる
二ツ谷副会長

石川県柔道整復師会

創立 90 周年　社団法人設立 40 周年
協同組合設立 20 周年

記念式典を開催

平成 27 年 11 月 29 日（日）ホテル金沢において、石川県柔道整復師会創立 90 周年・社団法人設立 40 周年・石川県柔道整復師協同組合設立 20 周年記念式典を開催。28 日（土）の前夜祭から始まった一連の行事をとおして、本会の歴史を振り返り誓いを新たにした２日間でした。

記念式典
午前11時15分
開　式

ＭＲＯ北陸放送アナウンサー 前原智子氏の司会進行により物故者法要、国歌斉唱が行われ、二ツ谷剛彦副会長の開会の辞で記念式典が始まりました。

会長ご挨拶

より一層、研鑽と精進に努めます

石川県柔道整復師会 会長　**嶋谷　清**

初代会長 高島義直先生を中心とする７名の先覚者のご努力によって、大正 14 年 11 月に柔道整復術営業組合設立認可書が下付されました。その 50 年後、昭和 50 年に社団法人として認可されて会員数は 76 名に、さらに 40 年を経た現在は会員数 360 余名を数えるまでになりました。その歩みの中で本会は、社会貢献活動を積極的に推進してきました。中でも会旗争奪少年柔道大会は昭和 63 年の第一回大会以来、柔道を通じて礼儀正しく心身ともに健全な青少年の育成と柔道の発展を図ることを目的に開催を重ねて今年で 28 回目、県下最大の少年柔道大会に成長してきました。

そのほか県内各地で開催されるマラソン大会や各種スポーツイベントのケアサポート活動、能登半島地震・東日本大震災での災害救護活動を行い、柔道整復術をとおして多少なりとも県民の皆様のお役に立てているのではないかと自負しております。今後も学術・整復術の研鑽をおさめ、より一層精進していく所存です。

終わりに本日ご臨席を賜りました皆様方をはじめ、関係諸官庁並びに諸団体各位の変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げますとともに皆様方の益々のご健勝とご繁栄をご祈念申し上げます。

続いて、多数ご臨席頂いた皆様方の中から谷本正憲石川県知事（代理 竹中博康副知事）、粟貴章野々市市長、中村勲県議会議長（代理 西田昭二副議長）、福田太郎市議会議長、山出保

安田健二
金沢市医師会会長

工藤鉄男
日本柔道整復師会会長

石川県中小企業団体中央会会長（代理 中村明中央会専務理事）、安田健二金沢市医師会会長、工藤鉄男日整会長から温かいご祝辞を頂きました。その後、本会発展に尽くされた方々への表彰が行われ、県知事表彰では受賞者を代表して錦川孝彦会員が謝辞を述べました。

竹中博康石川県副知事
（谷本知事代理）

西田昭二県議会副議長
（中村勲議長代理）

福田太郎市議会議長

粟貴章野々市市長

中村明石川県中小企業団体
中央会専務理事
（山出保会長代理）

祝賀会

午後0時30分
開　会

90年の

会場に藤舎秀代氏による「篠笛」の透き通るような音色が流れ、参加者260名はそのすばらしい演奏に吸い込まれるように聞き入りました。演奏が終わると同時に二ツ谷剛彦副会長が開宴を告げ、嶋谷清会長と橋本大衛協同組合理事長が歓迎の挨拶を行い、ご臨席の方々に改めて感謝の意を述べました。

その後、山野之義金沢市長、宮元陸加賀市長から祝辞を頂き、田中博人日整特別相談役の乾杯で宴が始まりました。参加者が歓談を交わす中、会場では『設立90周年・社団法人設立40周年・協同組合設立20周年のあゆみ』が上映され、大型スクリーンに本会の歴史や事業

山野之義金沢市長

宮元陸加賀市長

記念講演会

午前10時
開　会

『今後の社会保障について』

記念式典に先立ち、元厚生労働省統括官の今別府敏雄氏を講師に招いて記念講演会が行われました。

今別府氏は、今後の医療制度の中で柔道整復師が果たす役割に期待を示された。

今別府氏には、10年前の創立80周年記念式典でもご講演頂きました。今回の講演では、その当時と現在を比較しながら、今後の人口推移と年齢構成割合、年金制度、医療制度、介護制度について話されました。

特に人口の年齢構成割合が高齢化に向かって加速し、高齢者がさらに増加していることに加えて、若い世代の不労及び絶対値の減少が懸念されるところです。医療費の膨大な負担、年金制度の不透明感、今後の医療制度の改革を踏まえた介護保険の是正など、多くの難題を抱えている現状を詳しく説明されたうえで、今後の医療制度における柔道整復師の必要性について触れ、「活躍を期待します」と講演を締めくくられました。

あゆみに感謝と決意と―

活動などが紹介されました。

　またヴァイオリニストとして活躍する福田愛さんの演奏が披露され、会場からのリクエストに応えて『アメイジング・グレイス』や『情熱大陸のテーマ曲』が奏でられるなど、たいへん華やかな宴となりました。

　最後に堂本義邦副会長の閉宴の辞によりすべての式典が滞りなく終了しました。

嶋谷清会長

橋本大衛協同組合理事長

閉会の辞を述べる堂本副会長。

すべての行事が滞りなく終了。実行委員の皆さん、お疲れさまでした。

田中博人日整特別相談役のご発声で乾杯。

会場のリクエストに応える福田愛さん。

静寂の中に凛とした篠笛の音が響く。

前夜祭
11月28日

賑やかに和やかに、親交を深めました

村濱江里さんの歌声で会場は大盛り上がり。

嶋谷会長が歓迎の挨拶を行った。

　記念式典前日の午後６時より、ホテル金沢において前夜祭が開催されました。遠方より来県された来賓の方々にも多数参加を頂き賑やかな雰囲気に包まれるなか、金田豊茂総務部長の司会にて二ツ谷剛彦副会長が開会を宣言。嶋谷清会長が歓迎の言葉を述べ、来賓として碓井貞成北信越柔整専門学校長、木山時雨特別顧問、工藤鉄男日整会長、田中博人日整特別相談役から祝辞と挨拶を頂きました。その後、川本力雄相談役の発声で乾杯！ アトラクションの歌謡ショーなどで盛り上がり、夜遅くまで親交を深めました。

喜びの受賞者

記念式典の席上、施術を通して地域医療に貢献のあった会員や本会の発展に尽力された皆さんに表彰状が授与されました。

石川県知事表彰

初心に帰って

百谷　実

今回、社団設立40周年記念式典において石川県知事表彰を谷本正憲石川県知事より賜り、誠にありがとうございました。これも嶋谷会長はじめ、役員理事・諸先輩・会員皆様のご指導、ご支援の賜物と心より厚くお礼申しあげます。

思い返せば、昭和58年に本会に入会して以来、諸先輩の先生方や患者様、地域の皆様にいろいろと教わりながら30年以上の月日が流れました。本会への特別な貢献をしたこともないのに表彰して頂き、これを機に初心に帰って本会や地域のお役にたてるように努力していく所存です。

今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

石川県知事表彰

柔道整復師として、まっすぐに

錦川 孝彦

石川県柔道整復師会が創立90周年を迎える記念すべき年に、県知事表彰を受賞させて頂きました。心より御礼申し上げます。

早いもので、医療人として柔道整復師を志し30年以上が過ぎました。その間大過なくこの道を進んでこられたのも、諸先輩方や恩師、地域の方々、そして両親に支えられたお陰だと改めて感じております。振り返ってみると、初めて肩関節脱臼を整復する際、頭の中で何度も整復法を復唱し緊張しながら整復したこと、今日施した施術内容で良かったのか不安になり徹夜で勉強したことなど、今となっては懐かしく思い出されます。また、その中でいつも支えになったのは患者様の笑顔であり感謝の言葉です。

人口減少や高齢化社会など、私たちをとりまく環境に変化はありますが、人間性豊かで倫理観にあふれ、患者様に貢献するという柔道整復師として進むべき道、進むべき方向は変わらないと確信しています。今回の受賞を機会に、より一層柔道整復業務に精進し、地域の方々に貢献し続けることをお誓い申し上げる所存です。

最後になりましたが、次世代を担う柔道整復師のみなさんのより一層のご活躍と学術の研鑽、ご盛業を心からご祈念申し上げます。

石川県知事表彰

今噛みしめる、師匠の言葉

谷口　勝

開業して31年目、修行時代を入れて36年間この業界にお世話になっています。

高校を卒業後、東京で柔整学校に通いながらの住み込み修行を６人の先輩の下で始めました。最初に驚いたのは、修行開始の翌日のことです。休日当番の先輩から前腕骨骨折整復の手伝いを頼まれ、指示通りにベッドの下に座り上腕部を掴み補助したのですが、患者さんのおばあちゃんが大声で叫ぶ声に震えていたのを今でも覚えています。その後もいろいろな骨折の整復を手伝う機会があり、大変勉強になりました。

午前中は学校で勉強し、帰宅後に徒手整復法と包帯法の練習、その後接骨院業務の手伝いをしていました。柔道整復師免許取得後、やっと施術できるようになって最初の患者様は肩関節脱臼後療の方で、柔整マッサージだけで凄く疲れた記憶が今でも強く残っています。

師匠に教えられたのは、施術のことだけではありません。「仕事も生活も常に２～３割余力を残さないと肝心な時に対応できなくなることがある」「遊びなどの趣味を持って楽しく仕事や生活をすることが大切で、常に明るく人に接しないと誰も寄ってこない」。このようなことをよく聞かされました。

開業から現在まで、教えられたことを実行してきたつもりですが、時の経過とともに忘れかけていたように思います。この文章を書くことが師匠の言葉を思い出すきっかけとなりました。これからも初心を忘れず、まだまだ頑張ります。

石川県知事表彰

自他共栄の精神に基づいて

藤森　優

石川県柔道整復師会創立90周年・社団設立40周年記念式典の席上において、医療功労者石川県知事表彰を賜り誠にありがとうございました。これも嶋谷会長はじめ、役員理事、諸先輩方、会員皆様のご指導・ご支援の賜物と心より厚くお礼申しあげます。

本会に柔道整復師として入会し、30余年が経ちました。思い起こせば、常に先輩の先生方に教えを受けながら、いちはやく先生方に近づけるよう日々努力研鑽してまいりました。また日々の施術をとおして、患者様と膝をつき合わせ、コミュニケーションをとりながら先輩方から人生を学び、そこで得た大切なことを皆様に伝え譲っていきたいと思っております。

昨今、世のスピーディーな変革、進化の中で、これらに負けず劣らずさらなる明るい将来をめざして邁進していきたいと思っております。

これからも、県民の皆様が少しでも健康で安らかに暮らせるよう、また本会の充実のために粉骨砕身の気概を持ってお役に立てるよう努力していく所存でございます。今後ともよろしくご指導・ご鞭撻の程お願い申し上げます。

石川県知事表彰

30数年、学び続けて得たもの

皆川 晶一

石川県柔道整復師会創立 90 周年記念式典において、名誉ある医療功労者県知事表彰を賜り、まことに身に余る光栄でございます。これも、ひとえに役員理事・諸先輩・会員皆様のご指導、ご鞭撻あってのことと心より厚く感謝、御礼申し上げます。

本会に入会してはや 30 有余年、暗中模索の中なんとか今日まで日々の施術に邁進してまいりました。入会してすぐ、当時の大門匠会長より「施術の伝承の場として勉強会をやろう」と声をかけていただき、早速柔整学校の先輩である川本力雄先生ほか数人で開始しました。以来 30 数年継続し、現在も兼六臨床研究会として活動が続いています。大門会長じきじきの整復法をはじめ諸先輩の施術に接し、少しずつ身につくようになりました。また日々患者に接するなか、教科書等で学んだ以上の深い考察が必要となることが身にしみました。これらは徹底した問診、視診、触診を基礎とし、豊かな知識、経験に裏打ちされた施術として患者さんの信頼を得るものとなります。

昨今はマスコミで医療番組の特集が多く、ＣＴ、ＭＲＩなど検査法の発達によって医師への信頼が高まっていますが、柔道整復師の良さを生かして部活動や職場への早期復帰、老齢者のＱＯＬの向上を目標に施術を行うよう心がけています。

役員理事・会員の皆様ご活躍により、今後ますます石川県柔道整復師会が発展することを祈念して受賞の御礼といたします。

県知事表彰の受賞者を代表して錦川会員が謝辞を述べた。

医療功労者として石川県知事から表彰された皆さん（記念式典にて）。

石川労働局感謝状

西川典孝会員（左）と山田俊志会員の２名が受賞。

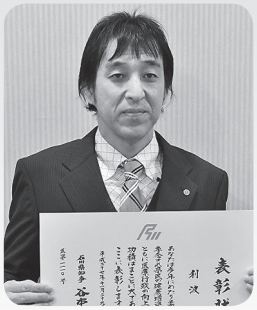
国保連合会感謝状

木山時雨会員

中田健市会員

石川県知事表彰

患者さんのため、もう少し頑張ろう



利波　衛

創立90周年・社団法人設立40周年にあたる節目の年に、石川県知事表彰を賜り身に余る光栄と存じ、心よりお礼申し上げます。これも歴代会長はじめ諸先輩・役員・会員各位のご指導ご鞭撻のおかげと心より感謝申し上げます。

病院研修を終えて意気揚々と開業し、患者様の痛みの原因を説明するまではいいのですが、肝心の治癒が伴いません。私は手技でどこまで人を治すことができるのかを私自身への課題として毎日の施術を行ってきました。ところが、開業して11年目に過労のため体調を崩し、部員としての活動もやめさせて頂きました。

毎日、患者様の体に触れながら痛みの状態を教えて頂いて施術を行っていると、段々と痛みと施術すべき個所との関係が私なりに、法則のように解ってきました。私自身への課題も少しずつ解決してきて、体のいわゆる“娑婆中が痛い”と訴える大勢の患者様に対して短時間で効果が得られ、私自身の体調にも負担をかけずに満足して頂ける施術ができるようになってきました。

また、施術中にこんな物があったらいいなと思う物を特許出願して幾つかは登録もしました。体に気をつけながら、気がつけば30年という月日が流れていました。まだまだおもしろい施術が発見できるかもしれません。もう少し患者さんのために頑張ろうと思います。

今後とも日々精進していきますのでよろしくお願い申し上げます。誠にありがとうございました。

日本柔道整復師会表彰

会長表彰

山田俊志会員

永年表彰

板橋透、小竹正明、達与四男、谷口久信、中川幸男、西森恒平、西森他喜雄、林鞠子の各会員が受賞し、８名を代表して板橋会員が表彰状を受け取りました。

会長感謝状

金田豊茂、中田健市、西川典孝、二ツ谷剛彦の各会員が受賞（写真左から順に）。

※以上、敬称略、順不同

石川県柔道整復師会表彰

会長感謝状

西徹夫顧問弁護士

山田豊明顧問会計士

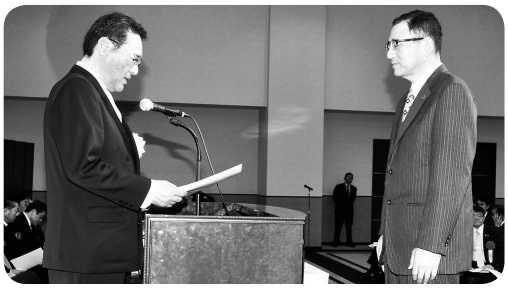
役員功労表彰

役員在職10年以上

金田豊茂、中田健市、西川典孝、二ツ谷剛彦の４名の会員が受賞した（写真左から）。

永年会員表彰

会員歴25年以上



五十嵐久智、板尾昌史、大川護、折越幸夫、中田健市、中野秀人、橋本孝志、東川博一、松本多市、宮本昭信、米田徳栄の11名の会員が受賞。代表は松本会員。

永年部員・委員表彰

8年以上協力会員

赤池敬順、麻田浩、五十嵐久智、井原亘、今村泰信、小倉弘行、桶谷靖夫、片田道夫、河村三紀、木山隆久、坂井秀一、坂下竜彦、嶽与志蔵、谷口勝、釣谷幸裕、利波衛、中西勝、西剛志、西敏男、西本正幸、橋本真、濱亮輔、東川博一、藤田宏幸、藤森優、丸田克幸、三国務、南川修吾、百谷実、森繁彦、山田誠、山本数之、吉川政寛の33名の会員が受賞。

柔道功労者

北浦 健司　小倉 弘行　田中 寿人

学術功労者

山崎 延幸　磯松 俊也　柳沢 昌孝

ボランティア優良会員

板橋　透　折越 幸夫　梶　雅彦　嶽 与志蔵
中谷　博　東　勝一　平田 和義　二又 俊孝
干場 和規　山崎 一平

職員表彰

小鍜治 登美子　酒井 春味　島垣　望

※以上、敬称略、順不同

協同組合表彰

功労者表彰

宇野幸治、佐川信之、佐藤一弘、西川典孝の４名の組合員が受賞した（写真左から）。

表彰業者

（株）関西放射線機器●（株）坂田亀巣堂●国際保険（株）●中部自動車共済協同組合●テイコクファルマケア（株）●（株）ドーム●（株）ピーアイコーポレイション●（有）フロム・エー●前田印刷（株）●マエダウエーブ（株）●（株）明宝ユニフォーム●（株）メディカルシステム●（株）ユニオントラスト●（株）吉田養眞堂

以上、14社（敬称略・順不同）

seminar&
lecture
meeting

学び▶活かし▶情報を発信

［特集］
講演会／研修会

皆様のハツラツとした毎日を支えたい！

施術者としてのスキルを磨き続ける！

（公社）石川県柔道整復師会では、さまざまな講演会や研修会を通して会員一人ひとりが施療技術の向上に努めるとともに、地域の皆様の健康に役立つ情報の発信に努めています。

公開講座

開催日■平成28年2月21日（日）
会　場■石川県地場産業振興センター本館

スポーツ現場における安全管理体制の構築

～スポーツ安全の最低条件～

講師／アスレティックトレーナー　**佐保 豊**氏

佐保先生には昨年の学術講演会でも講師をお願いし、目から鱗の内容が好評でした。今回はスポーツを楽しむための安全な環境づくりについてお話し頂き、会員をはじめ多数のスポーツ関係者が聴講しました。
主催／公益社団法人石川県柔道整復師会
共催／石川県柔道整復師協同組合

講師●Yutaka Saho
●NATA全米公認アスレティックトレーナー（ATC）
●NSCA全米公認ストレングス&コンディショニングスペシャリスト（CSCS）

PROFIEL
スポーツセーフティージャパン代表理事
名古屋グランパスエイト、チリ代表サッカーチームなど国内外の多数のチームで選手のコンディショニング管理などに携わっている。

学校の部活動やスポーツ現場で選手をサポートする立場の方々が最低限知っておくべき安全管理体制についてお話します。

スポーツセーフティーとはスポーツが安全に行える環境のことを指し、その実現のためにはスポーツに関わる人たち（①選手・家族 ②指導者 ③施設団体）が安全な環境を作るための行動（①知る ②備える ③整える）を起こさなければなりません。「スポーツにケガはつきもの」とよく耳にしますが、その多くは予防が可能であり、「無知」と「無理」が原因だとも言われています。

体育の授業や部活動中の重大な事故の約５割が突然死（心臓疾患）、約３割が頭部頚部脊髄の損傷、約１割が熱中症というデータがありますが、国を問わず学校以外のスポーツ現場にもこのデータは当てはまります。そこでこの、ＨＥＡＲＴ（心臓疾患）ＨＥＡＤ（頭・首の傷害）ＨＥＡＴ（熱中症）を“トリプルＨ”と称し、スポーツに関わる全ての人に正しい知識をつけてもらえるよう周知活動を行っています。

HEART＜心臓疾患＞

スポーツ現場で事故が起こった場合、難しいのは目の前に倒れている人が緊急なのかどうかの判断です。特に練習中は、事故の瞬間を見ていないことがほとんどです。

倒れて動かない人がいる時は、まず意識を確認し、意識がない場合は救急車を要請。次に呼吸・脈拍をチェックし、呼吸・脈拍がない場合はＡＥＤの準備と心肺蘇生を行います。救急車の到着時間は平均８分ですが、１分ごとに蘇生率が10％低くなるといわれ、到着までの処置が生死を分けるのです。

HEAD＜頭・首の傷害＞

つい先日の日本サッカー協会理事会で、競技中の選手が頭頸部を強く打った場合は主審の判断でピッチ内にチームドクターを呼び、最大３分間の脳しんとう診断を行うことが可能になりました。アメリカでは10歳以下の子どもにはヘディングをさせないそうです。

脳しんとうのほとんどは、意識を失わず画像にも映らないのですが、一度でも起こした人は、次から起こしやすくなります。架橋静脈（脳の表面にある数十本の静脈で、脳はこの静脈にぶら下がっている状態）が損傷して徐々に出血し、硬膜下腔に血腫を形成します。ゆっくり進行することが多く長時間の経過観察が必要になります。反応が悪くなったり話しかけても返答がなかったり、普段と少し違う兆候があれば脳しんとうを疑います。対処法としては、①すぐにプレーを中止 ②一人にさせないで監視 ③家族やコーチに報告 ④できるだけ早く専門医へ ⑤復帰は必ず医師の許可を得ることが挙げられます。大切なのは指導者も選手自身も脳しんとうを理解すること、そして症状を隠さず復帰のプロセスをきちんと守ることです。

参加者の目も真剣だ。

スポーツとは安全で楽しいものでなければならない。

【脳しんとう復帰プロセス】

step 1●安静・体と脳の完全休養（テレビ、読書、ゲームなど不可）

step 2●軽い有酸素運動（ウォーキング、バイク、軽いジョギングなど）

step 3●ランニング

step 4●練習参加（接触のないメニューで部分合流）・徐々に筋トレ開始

step 5●通常の練習メニューに復帰

step 6●医師の許可を得て試合に出場

※各ステップは24時間を目安にし、途中で症状が出た場合には前のステップに必ず戻ります。

頸椎・脊髄損傷が疑われる場合、負傷者を一秒でも早く専門の医療機関に渡すことが重要！そのためには、常日頃から事故に備えた体制を整えておくことが大切です

HEAT＜熱中症＞

トリプルＨの中では一番防ぎやすいといわれ、熱中症による死亡は100％防げるとアメリカ政府は発表しています。熱中症になりやすいのは暑さに体が慣れていない６・７月で、突然気温が上がり湿気の多い日は要注意。「暑さに慣れること」「体重のチェック」「水分の補給」が予防のポイントです。脱水状態のチェックは運動前後の体重の変化や尿の色ででき、体重が２

%減で要注意、３%減なら危険な状態です。

熱射病の時は体温を38度台まで急速に下げる必要があり、氷水を張ったバスタブに体全体をつけることが有効です。そして体温を下げたら救急車で搬送します。両腕を氷水につけることも予防効果があるといわれています。

以上、トリプルHをよく理解して備品と体制を整えておくこと、そして定期的に事故を想定したシミュレーションを行ってください。

講習会

開催日■平成28年2月21日(日)
会　場■石川県地場産業振興センター本館

機能訓練指導員認定柔道整復師 フォローアップ講座

1. 地域包括ケアシステムについて

真酒谷清介護保険対策委員長

地域包括ケアシステムとは、高齢者が住み慣れた自宅や地域の中で安心して自立した生活を営めるよう、医療･介護･予防･住まい・生活支援などのサービスを一体的に提供する体制です。ここで重要なのは、地域の実情によって求められるサービスが大きく異なること。その一つが高齢化率です。石川県内を見ても、能登、金沢、加賀では高齢化率に大きな差がみられ、各地域の状況、高齢者のニーズに応じた体制の構築が必要になります。

また介護保険制度を理解しておくことも重要です。介護保険制度とは、平成12年4月からスタートした各市町村が運営する制度で、40歳から加入し、65歳以上の方は各市町村が実施する要介護認定で必要とされた場合、いつでも介護サービスが受けられるようになります。これからは地域包括ケアシステムの中で、自助・互助・共助・公助といったかたちで互いが互いを支え合いながら、高齢者の生きがいや介護予防などにつなげる取り組みが重要になります。

柔道整復師は医療・介護サービスの中の専門職の範囲に入り、今後この分野で活躍していきたいと考えています。

2. デイサービスにおける機能訓練の実際

中田健市学術部長

機能訓練指導員として実際に活躍している、中田健市学術部長より報告がありました。

中田部長は専門用語の説明から入り、実際の活動の様子を撮影した動画を見ながら解説。介護が必要な高齢者には、介護しやすい身体をつくることが重要であると訴えました。

柔道整復師が地域包括ケアシステムに参入していくためには、介護について正しい知識を持つことが必要であり、介護保険や地域を知らずして地域包括ケアシステムにかかわることは困難であると述べました。

会員学術研究発表

開催日■平成28年2月21日(日)
会　場■石川県地場産業振興センター本館

日々の施術をとおして得た情報や知識を全ての会員が共有し、互いを高め合うことを目的に毎年開催しています。今年は2題の発表があり、それぞれスライドを交えて説明しました(発表抄録より一部抜粋)。

「少年期の骨幹端領域骨折の臨床経験」
前腕骨下端部骨折を主体として

金沢南支部　山崎 延幸会員

少年期の骨幹端領域骨折の特殊性として①成長途上であり脆弱②旺盛な仮骨形成能力③若木骨折が多い ④自家矯正作用がある⑤骨端線離開が多い⑥過成長による早期閉鎖作用等が挙げられる。よってその判断や措置を誤れば生涯に亘る変形と機能障害を残す危険性をはらむことを十分に認識することが大事である。(中略) Salter RB & Huris W.Rの分類による説明とともにレントゲン写真による経過を詳細に説明した。

考　察

①小児の筋力は脆弱であり整復操作が比較的簡単である
②骨に柔軟性があり整復操作しやすい
③整復は受傷当日が理想(10日を過ぎると困難になる)
④整復後の安静・加療の休暇日数がとりやすい
⑤仮骨形成が早く外固定による関節拘縮が少ない
⑥両親・家族への予後説明が必要
⑦早期閉鎖・変形治癒の経過観察には数か月から一年かかることもある

骨端線の早期閉鎖・遅発閉鎖・一部閉鎖・全体閉鎖などによる変形は進行性屈曲・短縮である。これらに十分な注意が必要である。

「仙骨周辺考・仙骨を立ててしめる」

加賀支部　高熊 二夫会員

腰痛の中でも、タイヤを抱え上げた際などに「腰が砕けた」と患者さんに言わしめるものがある。仙骨周辺の仙腸関節・腰仙関節・仙尾関節それぞれの支持筋力が負荷を支えきれず、各部で捻挫が起こるものである。所見として、患側片脚起立テスト陽性・SLRテスト陰性だが脚を下ろす際に、臀部に疼痛が出現する。

手　技

患者患側上側臥位(床と平行)にて股関節・仙腸関節の開排を調整・圧迫し、最後にサラシ・骨盤ベルト等で固定する。軽快してから指先を窓枠に掛けて全身を正し、仙骨を立ててつま先立ちをして骨盤底筋等患部周囲支持筋を締めて強化(窓枠体操)するのが望ましい。

発表者の2人に表彰状が贈られた。

各支部研修会

県内4つの支部においても、それぞれ独自の研修会・講演会を実施しています。

能登支部 公開講座

開催日■平成27年12月6日（日）
会　場■能登小牧台 コンベンションホール万葉

スポーツ障害・スポーツ外傷の予防

講師／IST・JATAC・JASSPOT 認定トレーナー
加賀支部　**中村 茂之**会員

「健やかな毎日のために自分に適したスポーツを」と中村会員。

公開講座は、石川県柔道整復師会が主催する講演会等を広く一般の方々に聞いてもらい健康に役立てていただくことを目的に行うもので、今回は45名が参加しました。講師は「なかむら接骨院」院長の中村茂之会員で、「スポーツ障害・スポーツ外傷の予防」をテーマに講演を行いました。

参加者からは熱心な質問も。

中村会員はスポーツ外傷とスポーツ障害の違いや、筋肉痛のメカニズム、ウォームアップとクールダウンの目的や注意点などを丁寧に説明し、自分に適したスポーツ活動を日常生活に取り入れることで自分自身の健康を守り、毎日の生活を健やかに、明るく、楽しく過ごしてもらいたいと講演を締めくくりました。

加賀支部 公開講座

開催日■平成27年12月13日（日）
会　場■山中温泉 河鹿荘ロイヤルホテル

骨粗しょう症とその病態と治療

講師／医療法人社団さくら会 森田病院副院長
森田 知史氏

森田先生は、最新の手術法などについても説明をされた。

骨粗しょう症になると骨折し易く回復に時間がかかったり、寝たきりの状態になるなど、高齢化が進む社会において医療費・介護負担増加の素因となっています。

骨は約3か月のサイクルで微細な破壊・吸収と新生を繰り返すことで常に「リモデリング」をしていますが、そこには女性ホルモン（エストロゲン）が大きく関与しています。閉経などで女性ホルモンの産生量が低下するとバランスが保持できなくなり、骨粗しょう症のリスクは高まります。

骨粗しょう症は、骨強度が低下することで骨折リスクが増加する骨の疾患を言います。80代では男性の約30%、女性の約60%にもなり、

骨粗しょう症の骨はスカスカ状態！

バルーンを挿入して形態を戻した後でセメントを注入して固める椎体圧迫骨折の最新の手術法などが紹介され、参加者は熱心に聞き入っていた。

患者数としては約1000万人いるといわれています。しかし、骨密度については緻密なガイドラインが存在し処方薬があるものの、骨の強度・弾力性などに対してはまだないのが現状です。外来での簡易診断では、患者に壁を背にして立ってもらい、後頭部が着かなければ胸椎圧迫骨折を、腸骨稜と第12肋骨との間隔が2横指以下であれば腰椎圧迫骨折を疑います。

影響が関与するものとしては、骨密度・低体重・カルシウム摂取不足・喫煙・飲酒・ステロイド内服・家族歴・骨折歴などがあげられ、立ち上がる際に多少痛む、身長が縮む程度の症状しかないため、骨折して初めて自覚することになります。

予防としては、インスタントラーメンや蒲鉾類に多く含まれるリンや食塩がカルシウムの吸収を妨害するため食べ過ぎに気をつけること。キノコ類・魚類（特に鮭）に多いビタミンDはカルシウムの吸収を助けますが、それには日光浴などで紫外線を浴びることが必須です。また、有酸素運動（1日約8000歩）、背筋、股関節周囲の筋トレも有効です。

いずれにしても骨密度を計るなどで早期発見治療し、骨折などを予防することが大切であり、結果としてそれが医療費や介護の負担減少につながるのです。

金沢北支部 公開講座

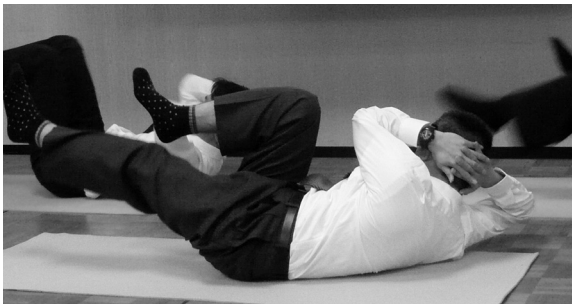
開催日■平成28年1月17（日）
会　場■ホテル金沢

ピラティスの有効活用

講師／医療法人光仁会 木島病院理学療法士
ＦＴＰ認定ピラティスインストラクター
石川 真衣子氏

ピラティスの由来や歴史、呼吸法、そしてその有効性をマットピラティスの実演を通して説明されました。

ピラティスの効果は姿勢・体型・身のこなしの改善からスポーツ選手の障害予防・リハビリ・スキルアップにまで及び、用意された70席をほぼ埋めた聴衆は熱心に講演に聞き入っていました。



マットピラティスの実演も行った。

金沢南支部 公開講座

開催日■平成28年1月24日（日）
会　場■ホテル金沢

スポーツ障害と外傷のマネジメント
～予防と対応＆心と体のケア～

講師／理学療法士　守山 成則氏

守山先生は「もっと気軽に理学療法を受け

講師の守山成則先生。

てもらいたい」との気持ちから株式会社Awakeあうぇいく（Body&heart Labo—心身機能改善研究所）を設立。スポーツ・トレーナー、ヨガ等にこだわりを持ち、「理学療法士がお届けする新しい痛みへのアプローチ」をキャッチフレーズに施術に取り組んでおられます。今回の講義は、①理学療法とは ②対症療法と根治療法 ③スポーツ選手のマネジメント ④筋のパワーより運動力学 を中心に進められました。

まず、理学療法の歴史や海外での位置づけに始まり、「対症療法と根治療法」では、現段階でどちらの療法を行っているのか施術者サイドがしっかり認識し、患者サイドに伝えることが必要であると話されました。特にスポーツ選手に対しては常に効果判定を行い、それを積み重ねることで対症療法と根治療法を使い分けることが重要であり、現状を伝えて選手自身に心構えと理解を持ってもらうことがメンタル面のケアにもつながるとのこと。

世間の神話「筋力至上主義」にも警鐘を鳴らし、筋力ばかりでなく良い姿勢や体重・荷重のコントロール、肢位を意識しきれいに動ける身体をつくることが、治癒能力向上や障害、外傷の再発減少につながることも訴えられました。

理学療法士の視点から障害や外傷に対する考えを学ぶ、柔道整復師の日々の臨床で活かすことのできる知識を得ることができました。

踏み込み体重移動の実技。

会場からは熱心な質問も。

1/17(日) 能登和倉万葉の里マラソン ケアサポート事前研修会実施

七尾市の「能登食祭市場」にて32名が参加し、3月13日(日)に行われる能登和倉万葉の里マラソンのケアサポート事前研修会を開催。講師の濱亮輔会員が「ランニングニー」とも呼ばれ、ランナーに多発する腸脛靭帯炎についての解説とテーピングやストレッチの実演を行いました。

「能登和倉万葉の里マラソン」はフルマラソンだけでなく「10キロ」や「親子マラソン」などのレースが同時に行われるため、朝から撤収するまで切れ間なくケア希望者がやってきます。それだけに大変な面も多いのですが、雪の中でも練習を続ける地元選手やこの日のために全国から集まる選手のためにも能登支部として頑張りたいと思います。

ストレッチを実演する濱会員。

サポート接骨石川（SSI）活動①

能登和倉万葉の里マラソン2016

親子で楽しく頑張るぞ～！オー！

応援する人も弾けちゃってます。

先導する白バイ隊も緊張が走る。

平成28年3月13日（日）、七尾市で「能登和倉万葉の里マラソン2016」が開催されました。今年も大会本部からボランティアの要請を受け、地元能登支部や各支部より37名の会員が「サポート接骨石川・赤十字奉仕団」としてケアサポート活動を行いました。

準備万端！余裕のはずだったのに…

毎年心配されるのが、大会当日の天候です。この冬も暖冬という予報だったのに、久々に気合の入った大雪となった能登地区。七尾市の隣の輪島市では40年ぶりに60センチの積雪になるなど、予測通りにはいきません。レース当日は早朝こそ氷点下だったものの徐々に気温が上昇し、フルマラソンがスタートする午前10時には陽も射して、まずまずのマラソン日和となりました。

能登和倉万葉の里マラソンでの活動の特徴の一つに、ケア開始が非常に早いことが挙げられます。これはスタート地点のすぐ近くにケアブースがあり、練習やウォーミングアップの前にケアを受けに来るランナーが多いためです。今回もケアブースが設営された和倉観光会館２階に朝７時前から何人ものランナーが受付に並んだことから、ただちにブースに入ってもらいテーピング、ストレッチなどのコンディショニングを始めました。

今年はよりランナーの希望に応えられるよう、スポーツトレーナーの経験が豊富な会員の声を参考にテーピング用テープを変更しました。そして、早めにケアサポートを始めたもののすぐに14台のベッドがいっぱいになり、廊下の奥にベッド代わりのシートを敷いて全員で対応しました。途中、七尾市の広報課の取材があり、カメラマンの注文通りにポーズをとったりしながらも、10時のフルマラソンのスタートまでに200人以上のケアを終えていました。その時点では過去最高だった去年より人数は少なかったのですが、手の空いている人から交替で昼食をとることに。その後、この判断が正解だったことが判明します。

テーピングの準備もバッチリ！

言われるままにガッツポーズ！（七尾市の取材で）

過去最高の617名をケア

12時を過ぎると10キロを走ったランナーが順番に入ってきます。ここまでは例年通りでしたが、今年はなぜか選手の流れが途切れず、休憩時間も取れないほどです。さらに午後２時を過ぎるとフルマラソンを完走した選手が次々とブースを訪れ、その数がいつもより多いのです！ 意外にもそれは、「金沢マラソン」の影響でした。昨年秋に開催され、この大会の倍以上のランナーが参加

サポート接骨石川（SSI）活動報告

した「金沢マラソン」で石川県内のマラソン大会が話題になり、そこで「能登和倉万葉の里マラソン」のケアブースの評判が選手たちの間に口コミで広がったようです。

冷たい風で低体温症状が出たランナーには準備しておいた湯タンポをあてて毛布で全身を包む、１階で動けなくなったランナーがいると聞けばすぐに３人のグループで駆けつけるなど、過去７回の経験が随所に生かされ、全員一丸となってケアサポートにあたりました。その結果、今年は昨年記録した602名をさらに上回り、１日でなんと過去最高の617名のランナーにケアを行うことができました。サポートを受けた選手はもちろん、主催者や関係者、関係団体の皆さんからもたくさんの感謝の言葉をいただき、本会のケアサポートが喜ばれていることを実感できました。これからも「金沢マラソン」とともに、石川県のマラソン大会を盛り上げるためのお手伝いをしていきたいと思います。

年々評判が広がって、ケアした選手は617名！

ウォーキングからフルマラソン選手までさまざまな人にケアを施す。

ブースが満杯になり、急きょ通路にシートを敷いて。

ケアを受けた選手より

10キロ完走　25歳・女性（津幡町在住）
金沢マラソンで完走できなかったので、一から始めるつもりで10キロにしました。テーピングのお陰で記録もよかったし、練習をして今年こそ金沢マラソンで完走したいです。金沢マラソンでもスタート前にやってほしいです！

フルマラソン完走　54歳・男性（富山県在住）
「ゴール横の建物の2階に行くといいぞ」と聞いてやって来ました。足がつりそうでしたが楽に歩けるようになりましたよ。後半のアップダウンと海からの風はきついけど楽しかった！金沢マラソンも走ってみたいです。

10キロ完走　50歳・女性（福井市在住）
膝のテーピングのお陰で無事に走れました。雪が積もるとどうしても練習不足になるので、もしテーピングがなかったらもっと悲惨なことになっていたと思います（笑）。

フルマラソン完走　44歳・男性（金沢市在住）
4時間を切りたかったのですが後半失速。気持ちを切り替えて何とか完走できました。秋までに鍛えて、金沢マラソンでは4時間を切りたい！今日は「能登マ丼」も「ちくわ」も食べられたので、これで満足して温泉に入って帰ります。

フルマラソン参加　64歳・女性（新潟県在住）
金沢のランニング仲間から評判を聞いて、こちらのブースに来ました。これまでいくつもの大会に出たけど、ベッドがズラーっと並んでこんなに立派なのは初めて。足も腰も丁寧にみてもらえたし本当に来てよかった。

サポート接骨石川（SSI）活動②

鳥越中学校での研修会に講師派遣

講師を務めた西川会員。

「運動部活動指導の工夫・改善支援事業」に係るスポーツ医・科学研修会開催について石川県教育委員会から依頼があり、平成28年1月12日（火）白山市鳥越中学校1・2年生約60名、教員5名を対象に講演・実技を行いました。

講師には西川典孝会員があたり、中学生の運動における「スポーツ外傷とスポーツ障害」について講義、休養と栄養、成長期の発育特性等を説明した後、簡単なストレッチ実技を行ないました。

鳥越中学校は全校生徒100名余りと小規模ですが、運動部活動は盛んであり、少数精鋭で頑張っている学校です。生徒たちは、真剣なまなざしで聞き入っていました。

ストレッチの実技指導も行った。

サポート接骨石川（SSI）活動③

学生と教職員約40名が熱心に受講。

職業実践専門課程のための研修会で講義

専修学校等では職場で必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的に「職業実践専門課程」を実施しています。

平成28年2月2日（火）16時から「職業実践専門課程」の一環として北信越柔整専門学校が開催する「企業による職員研修会」のための講師依頼が本会にあり、中村茂之会員が務めました。内容はスポーツセミナー「スポーツ障害について」。中間部学生30名、教職員12名を対象に機能解剖学の重要性、障害の評価等について講義をしてきました。

中村会員が講師を務めた。

支部だより

加賀支部

加賀支部保険講習会
保険の最新情報について解説

平成27年12月13（日）午前9時30分より、山中温泉・河鹿荘ロイヤルホテルにて保険講習会が開催されました。まず、嶋谷清会長が挨拶を行い、講師の西川典孝保険部長が「日整全国保険部長会議での詳細」「県内の請求状況ほか」「日本スポーツセンターからの情報」等について、詳細に説明しました。

保険講習会に続いて一般公開セミナーが行われました。その後の懇談会では、公開セミナーで講師をお願いした森田知史先生にも出席していただき、日頃の施術の中で抱いている疑問に対して整形外科医として、丁寧にお答えいただきました。

西川典孝保険部長

中田健市加賀支部長

金沢南支部

金沢南支部保険講習会
西川保険部長が指導・講習

平成27年11月21日（土）午後7時から、金沢南支部「保険講習会」が白山市民交流センターＡＶ講義室において開催され、保険取扱いについて西川典孝保険部長が講義を行いました。

- 日整全国保険部長会議より最新情報について
- 保険取扱いに関して審査会よりの注意点・問題点について
- 日本スポーツ振興センターについて
- 算定不可の骨折について
- 自賠責保険の事例について

上記のポイントで、長時間にわたり詳しく具体的な説明がされた後、会員から「長期理由の記載について」「自賠責保険取扱いについて」等の質問があり、適正な保険の取扱いのための充実した指導講習会になりました。

金沢南支部新年懇親会
大雪警報も“寄り切る”会場の熱気

石川県に大雪警報が発令された平成28年1月24日（日）、ホテル金沢にて金沢

スクリーンを見ながら
説明を行う西川保険部長。

「琴奨菊優勝！」
田中顧問の報告に拍手が湧いた。

西顧問の乾杯のご発声で開宴。

南支部新年懇親会が開催されました。

開会に際し、西川典孝支部長があいさつを行い、本会顧問の西徹夫弁護士のご発声で乾杯、会場はおおいに盛り上がりました。ちょうどその日は、大相撲初場所の千秋楽。途中、本会顧問の田中博人様から「琴奨菊が優勝！」と報告されると、日本出身力士10年ぶりの優勝ということもあって会場から大きな拍手が起こり懇親会に華を添えました。

会場の熱気は外の雪を融かすほど！ 大雪警報をも寄り切るほどの勢いが感じられる会となりました。

金沢北支部

金沢北支部　保険講習会・新春懇親会
新たなる決意で一年をスタート

平成28年1月17日(日)午後4時よりホテル金沢で、金沢北支部主催による保険講習会、及び新春懇親会が開催されました。

■保険講習会

西川典孝保険部長が、昨年11月に行われた日整全国保険部長会議での討議のあらましや、石川県の保険取扱いに関しての各審査会からの直近の返戻やその他の注意点、問題点などを分かり易く説明しました。

■新春懇親会

会場を隣に移して午後6時、二ツ谷剛彦副会長が開会の挨拶を行いました。続いて、来賓の碓井貞成木島学園校長、田中博人本会顧問よりお言葉を頂き、西徹夫本会顧問の乾杯で懇親会がスタート。出席した50名の会員は昨年を顧みて、新年の新たなる決意をもって祝杯をあげました。

木山時雨相談役から新年の挨拶があった。

碓井貞成
木島学園校長

田中博人顧問

能登支部

能登支部親睦会
膝詰めでコミュニケーション

平成27年12月5日(土)、能登小牧台にて「能登支部親睦会」が開催されました。

この日は能登支部だけでなく、各支部の理事や学術部員など25名が参加して賑やかに食事会やカラオケ大会が行われ、会員同士の意外な一面を知ることができました。

とれたて能登牡蠣の炭火焼きに舌鼓。

また最後はひとつの部屋にぎゅうぎゅうに集まり、日頃の仕事の悩みから、“どーでもいい面白くない面白話”まで、それぞれが率直に語り合い、共感し、時には笑い合いながら親睦を深めました。

能登支部教養講座・保険講習会・会員研究発表
発表者の真剣な取り組みが刺激に

平成27年12月6日(日)、七尾市の国民宿舎「能登小牧台 コンベンションホール万葉」にて実施した一般公開講座の後、会員の講習会を行いました。

「患者さんのために」を力説する川本相談役。

教養講座では、川本力雄会員が「望ましい接骨院経営のコツ～すべては患者さんのため～」をテーマに、永年の体験から現在の接骨院について感じていることや、これから大切になるであろうことについて述べました。

保険講習会では西川典孝理事が「保険は生き物と同じ。日々変化していますし、個々の事案により対応は様々です。不明な点は遠慮せずに保険部、理事にお問い合わせください」と呼び掛けました。

最後は能登支部の波佐谷兼潤会員が「柔道整復師と鍼灸師の腰部に対するアプローチの違い」をテーマに発表を行いました。針灸の「はり」はどのような作用で効果があると言われているのか、柔道整復師として行った施術と鍼灸師として行う施術の違いなど、自身の経験をもとにした大変に興味深い内容でした。

発表した会員が、それぞれのスタンスで真剣に柔道整復師として取り組んでいることが伝わる、意義のある講習会となりました。

柔道整復師と鍼灸師、それぞれの視点からアプローチが興味深い。

能登支部　新年学術研修会・保険講習会
盛りだくさん！研修三昧の一日

平成28年1月17日(日)、七尾市の能登食祭市場にて「新年学術研修会・保険講習会・万葉の里マラソンケアサポート事前研修会」が行われ32名が参加しました。

挨拶する山田支部長。

山田俊志能登支部長と堂本義邦副会長の挨拶で始まった学術研修会では、日整のホームページから全国の日整会員の実技発表や臨床発表を自宅で見られることが紹介され、会員の関心を集めました。

保険講習で質問に答える西理事。

また３月開催の「能登和倉万葉の里マラソン」でボランティア活動を行うことが決まっており、毎年増え続けるケア希望者を的確にサポートするために濱亮輔会員による事前研修会を行いました。続いての保険講習会では、３人の理事と堂本副会長が会員からの質問や疑問に丁寧に答えていました。

トピックス❶

健康やわら体操普及活動を実施

子どもたちの懸命な姿が微笑ましい。

サンタクロースが登場し、お菓子をプレゼント!

平成27年12月25日（金）午後9時より、城南中学校柔道場において健康やわら体操普及委員6名が、犀川柔道教室の塾生・父兄30名とともに健康やわら体操を行いました。

冬休みに入った小中学生や大学生（塾生OB）が熱のこもった稽古を繰り広げた後、木山隆久健康やわら体操普及委員長が「運動不足気味な方やお爺さんお婆さんと一緒に、楽しくこの体操をしてください」と挨拶、森田淳副委員長の解説のもと動作と呼吸法や掛け声を交えて体操を行いました。そして体操後、サンタクロースが突然登場すると歓声が起き、温かい雰囲気に包まれて普及活動を終えることができました。

この健康やわら体操は厚生労働省の後援を得て高齢者の体力の維持増進を目的にできたものですが、今後は運動不足による運動器疾患や介護予防にも力を入れ、町道場からも普及活動を推進したく思います。

トピックス❷

IT講習会を開催

どんな些細な疑問にも中村IT委員長が解答!

平成28年2月12日（金）午後8時30分より、柔整会館会議室においてIT講習会が開催されました。今回の講習内容は「会員統一HPの活用法・Facebookの利用法」「エクセル・ワード・パワーポイントの疑問点・使い方のQ&A」です。ノートパソコン、スマートホン・タブレット等持参で参加した13名は、中村茂之IT委員長の指導のもと、会員研究発表や論文発表などに必要なエクセルやワード、プレゼンテーションの際に役立つパワーポイントの作成、プロジェクターの使用方法等を学びました。

パワーポイントで作成した文書をプロジェクターに映写したり、会員統一HPの施術時間を変更しアップロードしたり、夜遅くまで課題に取り組んだ参加者からは、アプリケーションの使い方やHPの更新方法が理解できたと大変喜ばれ、充実した講習会となりました。今後も皆様に有益な講習会を企画していきたいと思います。

編集後記

❖石川県柔道整復師会が創立90周年を迎えました。長年の先達者の努力により90周年を華々しくお祝いができました。ところで長寿のお祝いにはいろんな読み方があります（長寿の節目は満年齢で祝います）。

還暦（61歳・満60歳）…生まれ年の干支に還るので還暦
古希（70歳）…古来70歳が稀であることから
喜（㐂）寿（77歳）…七十七で㐂と読めるため
傘寿（80歳）…八と十を重ねると傘になるから
米寿（88歳）…米が八十八と読めるから
卒寿（90歳）…卒の略が卆で九十と読めるから
白寿（99歳）…百から一を引くと白になるので
紀寿（100歳）…100年で一世紀になるから

100歳を超えた長寿祝いには108歳の茶寿、111歳の皇寿、120歳の大還暦があります。そして、250歳で天寿というのもあります。今は夢物語ですが、未来にはあることかもしれません。そして私達（公社）石川県柔道整復師会も、紀寿はもとより天寿までもお祝いができるよう、ますます発展していきたいと思っております。　（佐藤　記）

❖創立90周年記念事業を成功裏に終えて今号に掲載し、式典当日を思い出して感動の余韻に浸っています。巻頭言にもあったように、新年度からは高い志をもって一致団結、100周年に向けて歴史を刻んでゆきたく思います。

❖「石整広報100号」発刊を控えて第1号を拝読したところ、初代広報部長に川本力雄先生、3名の委員には板橋透先生、高田外司先生、谷口久信先生と大先輩方でのスタートでした。まず若々しい顔写真に驚き！また2号からは会員の寄稿文がスペースのほとんどを占めていることに驚きました。
大門匠会長（当時）の「広報発刊に寄せて」からは、昭和54年当時のご苦労と本会の発展に対する情熱が伝わってきました。また、「あとがき」も自由闊達な文章が多く新鮮！ 会員の皆さんも機会があればぜひご一読ください。

❖早朝の兼六園でのできごと。カメラ片手に何かを求めて梅林へ、「梅に鶯、梅にメジロ」嬉しくて、絶好の被写体に息を潜め近寄るも、鳥たちは驚き飛び散り、先着カメラマンより白い目で見られる「空気の読めないカメラマン」でした。　（木山　記）

ビバ・シティVOL.13 石整広報99　（平成28年4月20日発行）

■発行所／**公益社団法人石川県柔道整復師会**
石川県金沢市広岡２丁目3-26
TEL076-233-2122㈹　FAX076-233-2196
E-mail　ishiju@spacelan.ne.jp
■発行者／**嶋谷　清**
■編集者／**佐藤 裕之・木山 隆久・中野 秀人・小松 英夫・橋本 大衛・太田 信幸・木藤 正幸・唐木　均・五十嵐 久智**

撮影　金沢南支部　木山 隆久会員
使用カメラ:ニコン D90
使用レンズ:AF-S NIKKOR 18㎜-300㎜
撮影データ:F4 1／10秒

[美川ふくさげ祭り]
第5回白山美川ふくさげ祭りが開催され、美川商工会女性部員らが着物や帯の古布で手作りしたつるし飾りが、駅前や商店街を彩りました。
「ふく」は魚の「フグ」で福に通じ、「さげ」は手取川を元気に遡上する「鮭」に由来、子ども達の健やかな成長への願いが込められています。そして美川古来の「おかえり祭り」にもちなんだ春をことほぐお祭りなのだとか。展示会場に一歩足を踏み入れた途端、めでたくも華やかな雰囲気に包まれました。
（平成28年3月19日、大正浪漫館にて）

公益社団法人 石川県柔道整復師会
石川県金沢市広岡2丁目3-26
TEL076-233-2122㈹ FAX076-233-2196
E-mail ishiju@spacelan.ne.jp